

起業3年目までの
必要な知識が
10時間で学べる
オウンドビジネス大百科

オウンドビジネスの地図
～ インターネットビジネス編 ～

Part 1

玉井 : こんにちは、玉井です。

伊藤 : こんにちは、伊藤です。

玉井 : 今回は、インターネットビジネス編ということで。

伊藤 : はい。

玉井 : ビジネス初心者の方向けに、前提としては「しっかり起業する力」とか「ゼロからビジネスを構築する力」とか「自分だけのビジネスを作れる力」、簡単に言ったら「お金を稼ぐ力」やねんやけど。そういう本質的なところを高めていこうぜっていう前提で。それって言うたら「自分が社会に対して提供できる役割をしっかりと世の中にとっての価値に変えることができる力」になるんやけど。

伊藤 : はいはいはい。

玉井 : まあ、それをちゃんと意識高くと言うか、それを高めていきたいって人向けに。

伊藤 : もうなんか、ワクワクするような感じですよ。

玉井 : そうそう。そういうことにワクワクする人に向けて、音声を通して色々喋っていただけたらなと。

伊藤　：はいはい。

玉井　：あと、これから多分知らない単語とかも出てくると思うんですけど。敢えていっぱい使うので、そこから自分で調べたりして、見識を広げてもらえたらなと思うんで、初心者の方はメモとかとりながら聞いてもらえたらなと。

伊藤　：まあ、あと、聞き取りにくかったところとかは、書き起こしも用意しているのでそれも参考にしてもらえたらなー、という感じですね。

玉井　：そうそうそう。あともうちょっと言っとくと、これ聞いてくれてる人っておそらく、例えば、起業したいとか今いる会社を辞めて独立したいとか、本業とは別に何か商売を始めようと思ってるんですとかさ、色々あるやん。

伊藤　：うんうん、ありますね。

玉井　：自分が実現したいライフスタイルっていうのがもう既にあって、ノマドとか、他にもこう「社会でもっと必要とされる自分になりたい」「役に立ちたい」とか「手に職つけたい」とか、動機は色々あると思うんやけど。そんなようなモチベーションで、何か新しいことに、ビジネスにチャレンジしようと考えてる人、もしくは、今「絶賛チャレンジ中です！」って人向けにさ、その選択肢の1つとしての「インターネットビジネス」、その全体像っての

をまず俯瞰しようっていう目的で、こんなに自分には選択肢が既にあるんやってことを知ってもらえるように体感してもらえるようにってのがこの音声の目的なんで。

伊藤　：最初は、ネットで簡単に調べても得られる知識っていうか、まあこれもネットですけど、でもどこ見ても結局表面的なことしか書いてないというか。

玉井　：そうそう。だから、やっぱり情報が薄いのよね。っていうのも、そういう記事とかってライター雇って書いてたりとかさ、YouTubeもそうやけど、結局マス向けに、YouTubeだったら再生回数稼げるようなコンテンツにしないといけないわけで。

伊藤　：そうですね。

玉井　：だから、ほんとにその、これからやっていきたい、やっていこかなって考えてるっていう積極的な人にとっては実際のじゃなくて。個人で発信してる人ばかり見てみても、じゃあ裏で活躍してるマーケッターとかディレクターとかっていう働き方、こういう人、実はむっちゃおるのに、それは勿論見えてこないし、そうやって色んな個人が、色んなポジショントークやセールストークを繰り広げてるからこそ、本質も見えてきづらっていう、まあ構造があって。

伊藤　：ほんまにそういうところはありますよね。SNSとか、例えば、Twitterとか、今むちゃくちゃっすからね。

玉井　：そうそう。だから、ちょっと話それるけど、例えばネットビジネスって調べてみたら個人が、「なんとかアフリエイト」「なんとかマーケティング」みたいな、色んな人が色んなこと言ってるやん。

伊藤　：めっちゃ言うてますね(笑)

玉井　：で、別にそれは嘘ではないんだけど、やっぱりそういうビジネスを教える発信をしてる人って、勿論我々も例外ではないけど、自分の商品があって、有料コンテンツとかオンラインサロンのようなコミュニティとかスクールがあって、その集客としてメディアを育ててるわけやから、だからなんていうのかな。「周りのやつよりこっちのほうが優れてますよ稼ぎやすいですよー」とかさ、「簡単ですよーこんなメリットもあるんですよー」ってのを伝えるわけやんか。

伊藤　：そうですね。ポジション取りですからね。

玉井　：そうなんよ。でも、それは伝えないといけないから、やり方の上手下手は置いといても、ビジネスとしてやってる以上仕方ないなっていう気持ちも分かる。だから、別に彼らが嘘ついてるわけでも、惑わしてるわけでもないんやけど。でも、初心者のときって、俺自身そうやったから分かるけど、色んなことみんな好き勝手言ってるからホンマに。「えーじゃあ自分は何やったらええねん」と

か、悪い意味で選択肢多すぎて、逆に行動に移せないって人も多いんで。

伊藤　：いや、ぼくもビジネスの勉強始めて、1年くらいはずっとその状態やったんですよね。だから、そんな時はずっと、何て言うんですかね、業界地図というか、そういう上から眺められるようなものがあったらいいのになって、ずっと思ってたんですよ。

玉井　：そうそう。最初の頃に必要なんって実はそれやん。だから細かいマーケティングの知識とかそんなもんは実践しながらでええねんから、しかも、別にやらへんのやったら1ミリも意味ないんやから、そもそも。

伊藤　：(笑)

玉井　：だから、あと1個言いたいのは、確かにネットビジネスって種類いっぱいあって。でも、その「なんとかアフィリエイト」をやるにしても例えばね、そういうのって結局、本当は全てのネットビジネスにおいて共通する力、ビジネススキル、ITスキルみたいなものってのがあって

伊藤　：本質的なスキルですね。

玉井　：そうそう。その実力がついてくるから、「自分でビジネス構築する力」、まあ「起業力」って僕らは呼んでるけど、それがついてくるから結果も出るし、お金稼げるし、どんどん事業を大きくしていけるし、あとは自動化、

ある程度放置しても収益発生するとかっていう形が作れるのに、「なんとかアフィリエイト」みたいなその枠組みの中で、言ったら1つ低い視点で学んじやって、実践してしまおうと。

伊藤　：うんうん。

玉井　：例えば、その教えてくれる人がすごい親切で、この手順でこんなペースでやればいいですよって、ホンマに具体的なところまで、もうマニュアルやんってレベルで教えてくれてて。

伊藤　：はい(笑)

玉井　：それをただひたすら頭使わんと、言われたとおりに実践したら、例えば成果出たと。出たとしても、ネットビジネスって流れめっちゃ早いから、結局すぐできんくなる。

伊藤　：あー。

玉井　：どんどん稼ぎ減って行って、でも自分では今までそれを身につけてきてないから、何が悪いかわからへん。んで色々手を尽くしてみるんやけど、どんどん結局置いていかれて行って、気づいたときには「あーれー」みたいな、ことになるやんか。

伊藤　：いや、実際本当にそうで、僕の友だちにもいたんですよね、そういう人。

玉井　：ほおほお。

伊藤　：たいせい君って子なんですけど。

玉井　：名前言うてええの(笑)

伊藤　：いやまあまあ、(仮)ですけど

玉井　：あーはいはい。たいせい君(仮)ねw

伊藤　：そうですそうです(笑) 今後はたいせい君でいきますけど。たいせい君と僕は18歳の同時期くらいにビジネスを始めて、一緒にビジネスをやっていたわけじゃないんですけど、ちよくちよく連絡とりあって現状報告するような仲やったんですよね。で、僕がビジネスを始めて1年くらいした時に、たいせい君が「俺、月200万稼いだわ！」って言ってきたんですよ。

玉井　：おー凄いやん。

伊藤　：凄くないですか。で、僕も素直に「え？めっちゃすごいやんおめでとう！でも、どんなビジネスで稼いだん？」的なことを聞いたら、たいせい君は「アフィリエイトできる商品の動画を引っ張ってきて、youtubeに大量に載せてる！」みたいな。

玉井　：あーはいはいはい(笑) あれね、まあ何年か前に流行ったやつね。

伊藤　：そうです。んでその時の僕はある程度知らなかったんで、「へえ～、まあこれからも頑張っていこーぜ」みたいな感じで、その場は終わったんですよ。でも1ヶ月くらいしてからまた連絡とって、「今月どう？売り上げどうなん？」って聞いたら、たいせい君は「今月1万やわ。やばいわ。」みたいな。

玉井　：なるよね。

伊藤　：そんないきなり下がる？！って、当時はびっくりしたんですけど、よくよく考えてたら、ビジネスの本質的なところを抑えていないと意外とこういうことって全然あって。

玉井　：まあまあ、そうね。でもその場合に関しては、そのノウハウっていうのが、そもそも、もの凄く賞味期限が短くて、っていうようなものやった、ていうのは多分あると思うけど。

伊藤　：ありますね。まあ、そこからたいせい君は、他のビジネスをやったりとか、月10万の薄給の意味わからんやばい系の会社入ったりとか、僕も色々ビジネスの話とかしてたんですけど、その場その場の情報に惑わさせられて消耗していった感じになって、結局たいせい君自身「俺何

したいんやる、、何ができんねんやる、、」みたいになってて、何て言うんですかね、マーケティングに振り回されてるといふか。

玉井　：あーはいはい。発信する側のマーケティングに振り回されてるってことやね。

伊藤　：そうですそうです。自分の外に答えをずっと探し続けてるみたいなの。なんか、情報ジャンキーみたいなの。言うたら、ノウハウコレクターみたいなの感じですね。だから次こそは、「このノウハウを実践したら俺はイケる！」みたいな感じで勘違いして、本質学ぶことをなおざりにしていっちゃったみたいなの。

玉井　：そうそう、だからそういう人って、まじでいっぱいおるやん。

伊藤　：いますいます。

玉井　：でも、そうなっちゃう原因って1つしかなくて、それがネットビジネスを「小遣い稼ぎだ」とか、「なんかパソコン使ってうまいこと金稼ぐ方法があるんや」みたいな。しかも「なんか自動化できるらしくて、ほったらかしても稼げる、収益化できるから、働かんでよくなるんや」とか、そういう捉え方をしてもうてるからで、たいせい君も俺知らんから申し訳無いんだけど、ほんまにこれが原因で、確かにそう謳ってる人っていっぱいおるんやけど、で

もちょっと考えればわかるんやけど、そんな訳ないやんって。

伊藤　：ウシジマくんにあった世界とは違うよねって言うのはありますね。

玉井　：そうそう。あれは一応実話に基づいてるけど、あんなものぼくらの中ではフィクションやと思っておいたほうがいいから、だからこの業界ってポッと出の人、ポッと出てすぐ消えるみたいな人いっぱいいてるやん。

伊藤　：めちゃくちゃいますね。

玉井　：でも、「ちゃんと着実に本質的な力をつけるぞ」って意識をもって、取り組んだ人は、例えば同じ教材を買ったりしても、例えそれがすんげえ胡散臭いやつやったとしても、ちゃんと結果出すわけよ。

伊藤　：本当取り組む前提の意識の問題ですからね。

玉井　：そうそう。だから、ちょっと話逸れたけど、まずこれから実践していこうと思ってる人とか、「どんなのがあるのかなー？」って思ってる人も含めて、これはネットビジネスに限らず転売とか投資においても言えることなんで。てかまあ、逆やな、「本質は何か」とか「1つ高い視点で物事を捉える」ってことが大事っていうのが全てにおいて言えることで、それはネットビジネスも例外じゃない

ですよ、ってことを前提として、僕らは話を進めていきたい
など、思ってますよってことですね。

伊藤　：はいはい。

玉井　：で、じゃあまず喋っていくんだけど、ネットビジ
ネスって広い意味でのネットビジネスにしちゃうと、ほん
とに広すぎるから、例えばYouTuberとかもそうで、彼らっ
てGoogleアドセンスで稼いでるわけやから。

伊藤　：そうですね。

玉井　：まあ言うたらブログやサイトで商品紹介したりし
てる人、広告貼ってる人の動画バージョン、言うたらサイト
アフィリエイトの動画バージョンになるんやけど。

伊藤　：そうですね。構造は完全一緒ですね。

玉井　：そうそう、ビジネスとして見ればね。でも
youtuberは今は影響力がありすぎて、タレントとか演者み
たいな立ち位置になってるから、まあ言うたらエンタメ業
界の人であって別にビジネスができるのとはまたちょっと
違うんで、一旦省く。

伊藤　：うんうん。

玉井　：あとは、省くもので言ったら、えーとサイバーエー
ジェントがやってる「AbemaTV」とか、「Netflix」とか

「Hulu」とかもコンテンツビジネスと呼ばれるものなんやけど、

伊藤　：そうっすね。

玉井　：でも、そういうレベルのものはぼくらには一旦関係ないものとして、彼らもそれとはまた別にオウンドメディア事業っていう形でサイトアフィリエイト、例えばサイバーとかもやってるわけだけど、結局はそれを、言うたら上場企業レベルの大きな会社単位でやるか、個人でやるかの違いなだけやねんけど、まあそゆ明らかにいきなり1人でやるのに適してないってものも省くと。

伊藤　：なるほど、なるほど。そもそも大企業のビジネスって意外と中身自体は個人でやってることとおんなじやったりしますからね。

玉井　：そうそう、構造が違うだけで。

伊藤　：それで言ったらスタートアップとかも一緒に、ぼくの友だちにシリコンバレーで、もうザ・スタートアップのIT企業を経営してる友達がいるんですけど、そいつとかの取り巻きの人とかとよく話したりしてて、まあ結構深いビジネスの話するんですけど、結局はコンテンツ違うだけで、売るものが違うだけで、集客から販売までやってる事はまじで一緒に、それ知った時は「すげえな、ほんまに一緒やん」ってなりましたね(笑)

玉井　：そうそう、そういうアプリ開発とかさ、法人向けにサービス展開してるところとかも結局はマーケティングは同じ、考え方もほぼ同じだったりするわけで、だからゆくゆくは、ビジネス力高めてそういう方向に進んでいくこともできるけど、まあ、でも一旦今は置いとくと。だから、あくまで1人で始められる、そこから組織化したり、システム化・外注使って大きくもしてもいけるし、自動化して効率よく収益化することもできる、みたいなものをここでは、ってかこれ以降、「ネットビジネス」と呼んでしゃべっていきます。

伊藤　：はい。

← オウンドビジネスの地図~インターネットビジネス~